



富良野市教育委員会学びのまち推進課学びのまち推進係
電話 0167-39-2318 文責：上 用 眞一郎

楽しく学ぶことぶき大学！！

【富良野】65歳以上の市民が学ぶ「富良野市ことぶき大学」（学長・近内栄一教育長）の富良野校、山部校の合同入学式が16日、文化会館サンエーホールで行われた。ことぶき大学は1972年に開学。本年度も課題研究をはじめ、クラブ活動やスポーツ交流、研修などを予定している。新入生は4年制の本科11人、本科卒業後に進む2年制の大学院4人、研

65歳からの学びやへ一步

富良野市ことぶき大学入学式



ことぶき大学の入学式で入場する本科の新入生たち

究生2人、登録制研究生18人。在校生を含めて富良野校41人、山部校16人となった。式では近内学長が「正しい知識を身につけ、協力しながら課題解決に努めてほしい」と式辞を述べた。新入生を代表して富良野校本科1年の梶川利春さんが「各人それぞれの思いに挑戦していくことを決意している」と力強く語った。
(立木大造)

令和7年4月16日、富良野校8名、山部校3名、計11名の新入生の入場と共にことぶき大学がスタートしました。

明治・大正・昭和と激動の時代を生き抜いた与謝野晶子は次のように述べています。

「間断なき自修独学」、教育とは単なる学校教育ではなく、一生を通じた学びであると説きました。彼女は12人の子を育てながら歌人・ジャーナリストとして活躍し、ただ単に、女性の味方ではなく、真の男女平等を訴え続けました。つまり、生涯学習の精神は与謝野晶子の生き方そのものです。

「日本の教育は青年に偏りがちであるが、老人も現代の思想に触れば、若者と共に人生を創り上げていける」との考えを持ち、学び続けることの大切さを訴えました。

そして、新聞は「社会大学」であるという。新聞は日々の歴史であり、日々の社会批判であり、未来への予言を含む貴重な学びの場であるという。人は学校教育と直接経験との他に新聞によって最も博（ひろ）く教えられていると述べられている。この意味において新聞は社会大学であると…

時代は変わり、今やSNSの時代である。この令和の時代を見て、与謝野晶子はどう思うのでしょうか。きっと、「だから学び続けよ！」というでしょう…

ことぶき大学もその精神をモットーに、すべての人が豊かに学び続ける場でありたいと願います。

学生自治会も爽やかにスタート！！

入学式終了後、文化会館会議室 AB において「令和 7 年富良野校自治会総会」が開催されました。

昨年度は、三市町芸能発表交流会の当番校として、南富良野町千里大学、占冠村清流大学も参加する 5 市町村のおもてなしの記念の交流大会となりました。事前の準備から当日の運営など、金子会長のもと、全役員が一体となって思い出に残る大会でした。ありがとうございました。そして、新年度は、本科 3 年の柏木会長をはじめとして次のメンバーによる役員体制となりました。楽しい学校生活になるように、全会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。



金子会長を始め旧役員の方々に、1 年間大変お疲れ様でした。

年間 11 回の役員会、三市町芸能発表交流会では 5 市町村参加と交流の輪が広がりました。

【富良野校自治会新組織】

- 会 長： 柏木 達夫さん（本科 3 年生）
副会長： 宮西 久子さん（研 究 生）
総 務： 上村 恭子さん（本科 4 年生）
会 計： 高瀬 優子さん（大学院 1 年生）
書 記： 田賀美津子さん（本科 4 年生）
監 事： 原 あけみさん（第 2 研究生）
監 事： 四宮 時夫さん（第 2 研究生）



右から柏木新会長、新役員の方々です。このメンバーで今年は頑張ります。まずは、5 月の春の研修旅行と 6 月のスポーツ交流会について話し合いを進める予定です。よろしくお願いします。

4 月 23 日（水）本日の日程

1 午前：クラブ学習 1

- 9:00 当番学年集合（本科 3 年生）
9:30 朝の集い（校歌斉唱、ラジオ体操、諸連絡）
9:50 クラブ学習準備（陶芸クラブはバスで移動）
10:00 クラブ学習開始（各会場にて）
12:00 // 終了

昼食・休憩

2 午後：新年度の学習について

- 13:00 新年度計画について（会議室 1）
5 月、7 月の研修について、学年（課題）別研究、クラブ学習
同好会活動等について、連絡網について（令和 7 年度ことぶき大学 LINE）
当番活動について 後片付け 自治会役員以外は終了
14:30 自治会役員会議
15:30 終了

当番学年の仕事

◎ 教室のレイアウト

右の図のような座席のレイアウトにします。

かなり手狭になりますので、黒板前にテーブルを2台セットすると全テーブル数になります。

◎ 教室の換気と除菌

まずは、教室の窓を開けて換気をします。

朝については、事務局で換気をしますが、基本的にはテーブルと椅子を並べる間に換気をしましょう。必要に応じて除菌シートを使用します。

クラブ学習においても1時間に5分程度換気したいと思います。

◎ 配布物について

印刷物など、当番の学年が集合するまでには仕上げておく予定です。学年別に仕分けをします。また、出席簿を用意します。

これからの事は事務局と一緒にすることになります。よろしくお願いします。

座席表 黒板

本4	本4	本1	本1	本1	本1	第2⑦	第2⑦
本4	本4	本1	本1	本1	本1	第2⑦	第2⑦
本4	本4	本3	本3	第2①	第2①	第2⑥	第2⑥
本4		本3	本3	第2②	第2②	第2⑤	第2⑤
大院1	大院1	本3	本3	第2③	第2③	第2④	第2⑤
研究	研究						



これからの学習内容と諸連絡

1. 次回、4月30日(水)の日程

◎ 自治会費前期分納入日 (3,500円)

◎ 5/28(水)の春の研修旅行の参加集約(参加の有無一覧表に記入)

9:00 当番学年集合(本科4年生)

9:30 朝の集い(校歌斉唱、ラジオ体操、諸連絡)

10:00 文学の散歩道 I (会議室1)、年間計画についての説明

12:00 // 終了

昼食・休憩

13:00 「コーラス」(会議室1)、リズムダンス(2F 多目的ホール)

14:00 // 終了

14:15 学年(課題)別研究 I (教室を割り振ります)

15:00 帰りの集い 後片づけ

2. 5月14日(水)の日程

◎ 5/28(水)の春の研修、チケット代納入日 (2,500円)

午前：俳句講座

午後：学年(課題)別研究2

本科1年生の学年別研究の教室は当面、会議室2にします。

3. 5月21日(水)の日程

午前：クラブ学習2回目

午後：第43回少年の主張大会視聴

昼食終了後、片付けし複合庁舎「サンエーホール」に移動します。

4. 5月28日(水)の日程 (予定の詳細は別途提案します)

春の研修旅行

8:00 図書館出発

11:00 見学1 AOA SAPPORO (札幌の水族館)

12:00 昼食 サッポロファクトリー (各自負担、事前にメニュー表を配布します)

13:00 見学2 MOZU ミニチュア展 (サッポロファクトリー)

15:00 現地発

18:00 市立富良野図書館発

5. アニュアルプラン (年間学習計画)について

佐藤華恵係長に講師を依頼しました。

今回は、特別講座を開催します。まずは中国茶を楽しむ講座です。その後2回に分けてやさしい中国語講座です。とても楽しみです。

また、なるべく早い時期に「**スマホ講座**」も何回かに分けて実施する予定です。

講師はもちろん、私たちの学びのまち推進系の若者ふたり、片平さんと曾田さんにお願いする予定です。

年間計画に追加する項目

9/ 3	(水曜日) AM: 中国茶を楽しむ講座
9/10	(水曜日) PM: 楽しい中国語講座 I
10/ 8	(水曜日) PM: 楽しい中国語講座 II



ティー・タイムコーナー

最近の話題といえば世界的な経済問題、戦争と平和問題、歴史や宗教問題…毎日いろんな情報が飛び交っていますが、右往左往せずに冷静な目を養いたいものです。

それにしても米不足と高騰が続いている中、今後は韓国からお米を輸入するということですからどうなっているのでしょうか。調べてみると日本にある韓国の企業が個人的に輸入しているようです。いったい政府の備蓄米などはどうなっているのでしょうか。お米は日本の主食です。子供たちの学校給食などにも影響してくることがないように国や自治体が考えるべきでしょう。

そんな新聞紙上で次のような写真に目が止まりました。

何とも愛ある写真ではありませんか。

「健康で美しい娘を産んでくれた愛する妻に心から感謝している。娘へ、私たちをとて不安で、まだすごくそわそわしている親にしてくれてありがとう」
とても素直な言葉ですね。親になった実感がストレートに表現されていてとても心が和みました。

それに対して祝福の言葉を贈った、元日本ハムや日本代表だった栗山監督の言葉も印象的です。

「本当に良かったし、すごく安心したし、ほっとしたし、うれしかった」と祝福した。「大切なお子さんを持って、野球だけに集中していける環境になる」とした上で、「ここが大きな起点になる。さあ翔平、ここからです」とエールを送った。

それにしてもかわいい足です。我が家の一人娘が生まれた時を思い出しました。

来週からゴールデンウィークです。

こちらはやっと自宅の外回りの環境整備やら修繕…日に日に増えてくる春のお花に癒されながら午後からできるだけのんびり紅茶でも…これから北海道は一番良い季節です。どうぞ麓郷に来ることがありましたらお立ちお寄りください。

道新新聞 2025年(令和7年)4月22日(火曜日)

大谷夫妻に女兒誕生

【アーリントン(米テキサス州)共同】米大リーグ、ドジャースの大谷翔平選手(30)が19日、インスタグラムで妻の眞美子さん(28)が第1子となる女兒を出産したことを発表した。英語で「大谷家へようこそ!」と記し、夫妻とみられる手が赤やんの両足を触る写真を添えた。(関連記事19面)

インスタグラムには「健康で美しい娘を産んでくれた愛する妻に心から感謝している。娘へ、私たちをとて不安で、まだすごくそわそわしている親にしてくれてありがとう」と投稿。チームメイトやファン、妻の出産をサポートした医療関係者に対しても感謝もつづいた。

昨年12月末に眞美子さんの妊娠を公表していた大谷選手は、18日に産休制度の「父親リスト」入りし、テキサス州アーリントンで行われた同日の試合を今季初めて欠場し、19日の試合も欠場した。20日の試合で復帰し、無安打だった。

エスコンガラス壁 世界最大に認定

7241平方メートル ギネス記録

札幌小倶岩屋江室西浦旭留稚紋網北帯訓根